



506
2020.10 | OCTOBER

car

Magazine For Those Who Love Historic And Sport Car

MAGAZINE

CONTENTS

- 008 ALVIS VANDEN PLAS TOURER
アルヴィスは時空を超えて
- 015 巻頭コラム



020 TOP ISSUE 1: MERCEDES-BENZ W201 & W124 人類史上最強セダンに乗る

- 022 MERCEDES-BENZ 300E
時代を越える包容力
- 028 MERCEDES-BENZ W124 CLUB
愛好家の声を訊く
- 030 MERCEDES-BENZ 190E
異なる個性の兄弟車
- 034 ASK THE SPECIALIST
最強メルセデス、魅力の根源と最新の動向
- 036 PROFESSIONAL MODELER & W201
"プロ"の選んだ190
- 040 HISTORY
イラストで見るW201&W124の変遷
- 042 MERCEDES-BENZ "ALL TIME STARS"
"スター"は1日にしてならず
- 044 MERCEDES-BENZ 500E & E500
20年後の喜びを買う
- 046 OWNER & JOURNALIST COLUMN
私的W201&W124論
- 048 VIST THE SPECIAL SHOP
ディープな"W201専門店"を訪ねて
- 050 FROM CURATOR'S EYES
メルセデス、EとC

cover story



1989 MERCEDES-BENZ 190E

戦前の日本人に馴染深いメルセデス・ベンツといえば、真っ先に思い浮かぶのは昭和天皇の御料車、770K。戦後になると今度は銀幕の大スター、石原裕次郎の愛車300SLなども広く知られた。が、何れにしてもそれらは雲の上の存在。しかし1960年代も後半になると"中くらいのサイズ"のメルセデスが徐々に身近な存在になり、さらには同社初の5ナンバー"小さな4ドア・セダン"190の登場で、いよいよ"最善か無か"を標榜したジドウシャに乗れる機会が拡大したのです。(長尾)

photo:Satoshi KAMIMURA
cooperation:J'DING